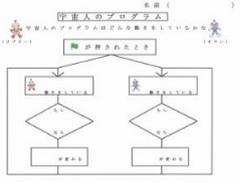


小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	月と太陽
学年	小学校第6学年
目標	<p>○ 月の位置や形の変化について興味・関心をもち、月の形の見え方を太陽との位置関係から推論して追求し、月の見え方が規則正しく変化する理由について考えることができるようにする。また、観察や資料に基づいて、月と太陽の表面の違いを理解するとともに、月や太陽に対する豊かな心情を育てる。</p> <p>○ 「Scratch」を活用して、問題解決のために必要な手順を考え、プログラミングすることができるようにする。</p>
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	Scratch
環境	児童2人で1台の端末を使用
都道府県	徳島県
実施校	阿波市立一条小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>学習活動の概要</p> <p>○ 重力とは何かを知り、月面での動きを再現し、プログラミングをする。 Scratch を活用して、どのようにプログラムを組んだら良いのかを友だちと協力しながら考え、プログラミングをする。</p> <p>児童の様子</p> <p>① 例示された動き（月面での動き）を見て、※ワークシートをもとに必要なプログラムを考えて記入する。 ペアで意見交換をし、どのプログラムが必要なのかを考えさせる。 必要なコードを見つけ、組み合わせてみる。</p> <p>② プログラムを入力し、月面での動きを表現する。</p> <p>③ 完成したプログラムを発表する。</p> <p>※ワークシート</p> 
成果と課題	<p>成果・・・月面での動き（上下）を再現したり、また、様々な動き（左右に動いたり、縦横無尽に動いたり等）を工夫して表現したりすることができた。</p> <p>課題・・・普通の授業と平行してプログラミングを行っていたので、時間の兼ね合いが難しかった。もっと時間があれば深く取り組むことができた。</p>